



ネコちゃんの病院嫌いをなくそう



日頃病院に通院している多くのネコちゃんは、病院に対して苦手意識やストレスを感じていることが多くあると思います。
病院に来ることに対して少しでもストレスを軽減できる方法を紹介します。

～キャリーバックに慣らす～

病院に来院されるときだけにキャリーバックを使用すると、キャリーバックと病院が関連づいてしまい、それを見ただけで逃げてしまうことが多いです。普段からキャリーバックに慣らしましょう。

キャリーバックをネコちゃんが日頃過ごす場所に置き、いつでも出入りできるようにしておきます。ネコちゃんはバックや箱に入るのが大好きです。中にはネコちゃんが好む毛布などを入れて置いてください。フードやおやつをその中で食べさせてみましょう。



安心して寝れる場所になるのがベストです。
キャリーバックは様々な種類がありますが、上が開くタイプがおすすめです。

おすすめ商品「フェリウェイ」

フェリウェイは動物のフェロモンが含まれている商品です。
フェロモンとは動物個体から自然に産生されるものです。



これをキャリーバックやネコちゃんの生活空間に使ってあげることによってネコちゃんは自分でマーキングしたかのような安心した場所になります。

スプレータイプ



キャリーバックや普段使っている毛布やタオルにスプレーを吹きかけて使用

拡散タイプ



コンセントプラグにつないで使用

移動するとき

音や揺れといった過度な刺激があった場合、ネコちゃんが発奮してしまうことがあります。

車で移動の際はなるべく揺れないように固定しましょう。

来院したとき

タオルなどをキャリーバックにかぶせてあげると、知らない人や外からの刺激を最小限にしてあげることが出来るので、落ち着くネコちゃんが多いです。

診察室では

獣医師や看護師の指示があるまではキャリーバックから出さないようにしましょう。

出すときはネコちゃんを無理に引っ張りださず、キャリーバックを斜めに傾けてネコちゃんが出やすようにしてみたり、タオルなどを使いネコちゃんを包んで出してあげましょう。

帰宅後は

帰宅後は興奮していることが多いため直ぐには出さず静かな部屋で一度落ち着かせてあげましょう。



半年から一年に1回は健康診断として病院に来院することをおすすめします。定期的に病院に来院することによって、大切なネコちゃんの病気の早期発見、早期治療をしてあげることができます。病院はネコちゃんにとって怖くないところにしてあげることが大切です。

